

よみきかせボランティアのための



# おすすめえほん

2016  
夏号

小学1・2年に  
おすすめ

## 『だいくとおにろく』

松居直/再話 赤羽末吉/画 福音館書店(約5分)



流れの急な川に橋架けを頼まれ心配になった大工が、川を見つめていると、鬼が現れ、「目玉をよこせば代わりに橋を架けてやる」と持ちかける。たちまち橋はできあがるが、大工は目玉をとられたくない。逃げ出す大工に、鬼は名前を当てれば許してやるというが……。同じストーリーの昔話絵本は多数出ているがこれがおすすめ。



小学3・4年に  
おすすめ

## 子どもに読み聞かせをする人のための 参考資料⑥

### 『小学校での読み聞かせガイドブック』

湯沢朱美子ほか/編・著 プランニング遊

小学校での読み聞かせにむく絵本を学年ごと、プログラムごとに紹介。さらに、ことば遊びや詩の本の紹介では、効果的に読み聞かせする方法にも触れている。



## 『おさらをあらわなかったおじさん』

フィリス・クラヴツキー/文 パーバ・クニー/絵 光吉夏弥/訳 岩波書店(約5分)

一人暮らしのおじさんが、ある晩いつもよりお腹がすいたので、晩ごはんをたくさん作って、たくさん食べて、すっかりくたびれてしまい、お皿を流しに放っておいた。次の日も、もっとくたびれてお皿は流しに放ったまま。そのうちお皿がなくなると、灰皿や植木鉢で食べはじめ、家中が使った洗い物いっぱいになる。そのとき雨が降りだして……。



小学5・6年に  
おすすめ

## 『よあけ』

リリー・シルヴァイツ/作・画 瀬田貞二/訳 福音館書店(約5分)



唐の詩人柳宗元の詩「漁翁」をモチーフに描かれた詩の絵本。湖のほとりの木の下で、おじさんと孫が眠っている。静かで動くものがない夜から、そよ風がふき、靄こもり、鳥が鳴き、ゆっくりと夜が明けはじめる。2人がボートに乗って湖に漕ぎ出すと、日が昇り、山と湖が一斉に緑色に。美しい水彩画と選びぬかれた言葉で綴られた静かな文が、深い印象を残す一冊。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

子ども室カウンターでも、ご質問などをお伺いしています。



発行：福井県立図書館子ども室  
(2016.6発行)

〒918-8113 福井市下馬町 51-11  
Tel. 0776-33-8860

福井県 図書館

検索